会社説明会資料

このまち思いエネルギー。

広島ガス

2018年12月4日

本日のプレゼンテーション内容

1．2018年度第2四半期 決算実績

2．広島ガスグループ2030年ビジョン

3．トピックス

1．2018年度第2四半期 決算実績

(1) 都市ガス販売量実績

(2) 2018年度第2四半期 決算実績

(3) セグメント別 決算実績

(4) 財政状況

(5) 2018年度 業績見通し

(6) 株主還元方針

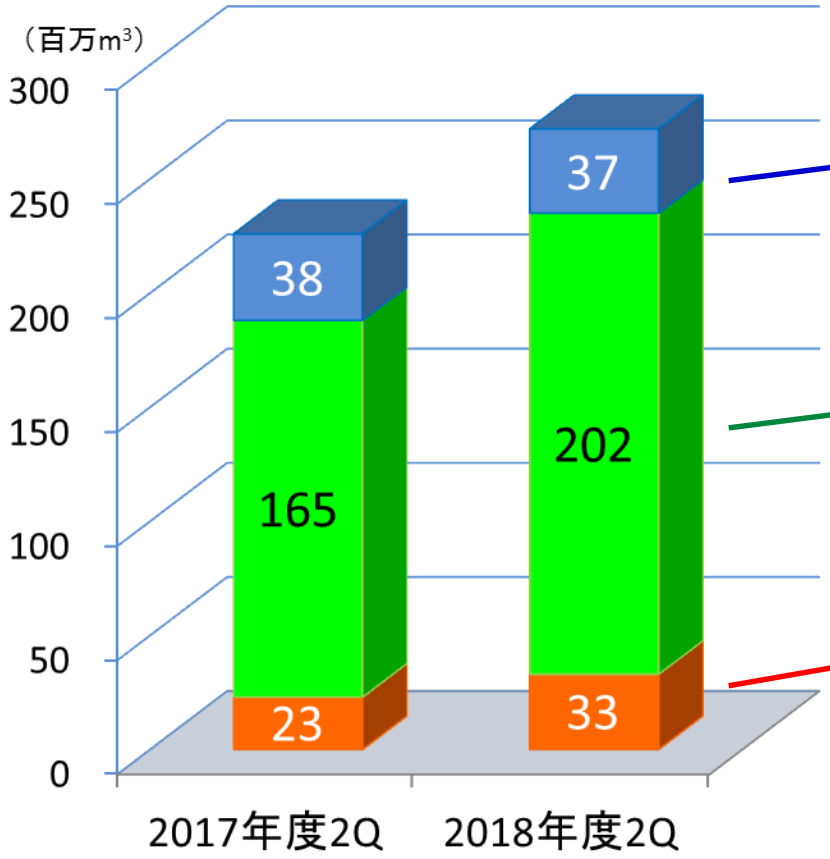
（1）都市ガス販売量実績

2018年度第2四半期

都市ガス販売量

274百万㎥

（+46百万㎥、+20.2%）



■家庭用 ▲0.7百万㎥（▲2.1%）

・春先および夏場の高気温の影響

■業務用 ＋36百万㎥（＋22.2%）

・既存大口需要家への販売量の増加

■卸供給等＋10百万㎥（＋42.5%）

・既存卸需要家の販売量の増加

(2) 2018年度第2四半期 決算実績

（単位：百万円）

	2017年度2Q	2018年度2Q	増減	率（%）
売上高	32，512	36，156	3，643	11．2
売上総利益	12，827	11，814	▲1，013	▲7．9
営業利益	780	▲354	▲1，135	－
経常利益	1，051	▲173	▲1，225	－
親会社株主に帰属する四半期純利益	481	▲285	▲767	－
原油価格 JCC（$/bbl）	51	74	23	－
為替レート（円/$）	111	110	▲1	－

(注) JCC（=Japan Crude Cocktail）：全日本に輸入される原油の月間の加重平均入着（CIF）価格

（ご参考）経常利益分析

経常利益　▲12億円 の減益

（1,051百万円　⇒　▲173百万円）

「▲」は利益に対する影響額を示す

1. スライド差	▲5億円
2. 高気温の影響	▲3億円
3. 7月豪雨災害の影響	▲1億円
4. その他（修繕コスト等）	▲3億円

(3) セグメント別 決算実績

（単位：百万円）

		ガス事業	LPG事業	その他	調整額	連結
売上高	2018年度2Q	28，178	7，686	1，410	▲1，119	36，156
	2017年度2Q	24，976	7，138	1，435	▲1，037	32，512
	増減 率(%)	3，201 12．8%	548 7．7%	▲24 ▲1．7%	▲82 ―	3，643 11．2%
セグメント利益	2018年度2Q	▲652	277	▲66	86	▲354
	2017年度2Q	441	277	▲103	165	780
	増減 率(%)	▲1，093 ―	0 0．1%	36 ―	▲78 ―	▲1，135 ―
セグメント売上高利益率	2018年度2Q	―	3．6%	―	―	―
	2017年度2Q	1．8%	3．9%	―	―	2．4%

(4) ① 財政状況

（単位：百万円）

	2017年度末	2018年9月末	増減
総資産	102，656	105，391	2，734
負債	51，696	55，000	3，304
純資産	50，960	50，390	▲569
自己資本比率（%）	47．1	45．2	▲1．9pt

(4) ② 財政状況

（単位：百万円）

	2017年2Q	2018年2Q	増減
営業CF	3，415	▲1，792	▲5，208
投資CF	▲3，082	▲3，417	▲335
財務CF	▲822	5，062	5，885
設備投資額	2，792	3，303	511
減価償却費	3，530	3，598	68

（5）2018年度 業績見通し

（単位：百万円）

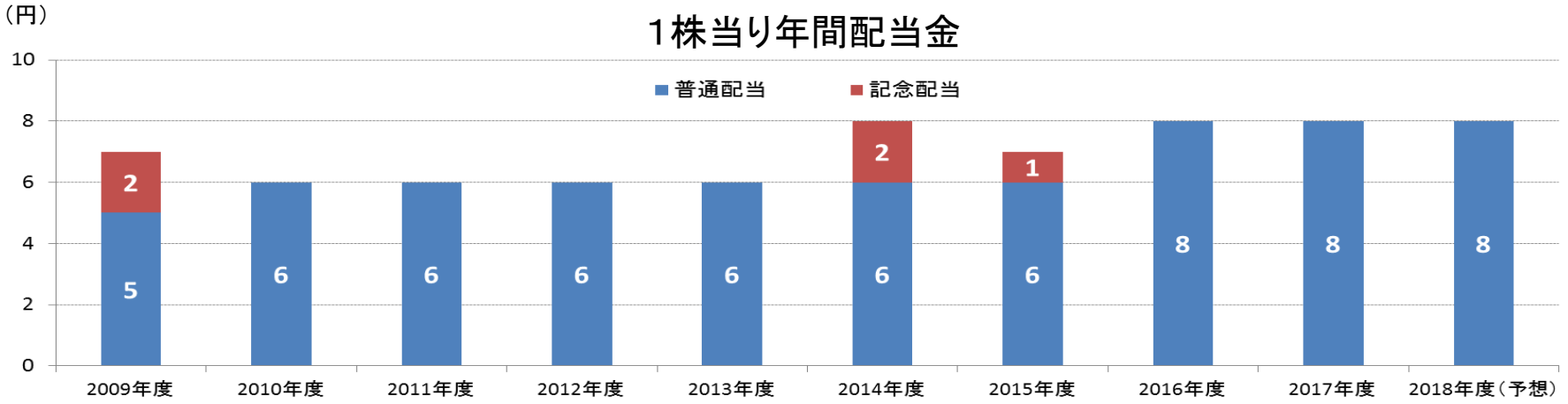
	2017年度（実績）	2018年度（見通し）			2017年度実績との差異
		今回修正予想	当初発表予想	差異	
売上高	73，717	81，000	79，000	2，000	7，282
営業利益	2，920	2，300	3，100	▲800	▲620
経常利益	3，506	2，700	3，600	▲900	▲806
親会社株主に帰属する当期純利益	2，499	1，700	2，400	▲700	▲799
ROE（%）	5．3	3．5	4．8	▲1．3	▲1．8
原油価格 JCC（$/bbl）	57	75	65	10	18
為替レート（円/$）	111	110	110	－	▲1

当初発表予想から売上高を上方修正、各利益を下方修正

- 原料費調整によるガス販売単価の上昇
- 下期の原油価格の想定を見直したことによる原材料費の増加

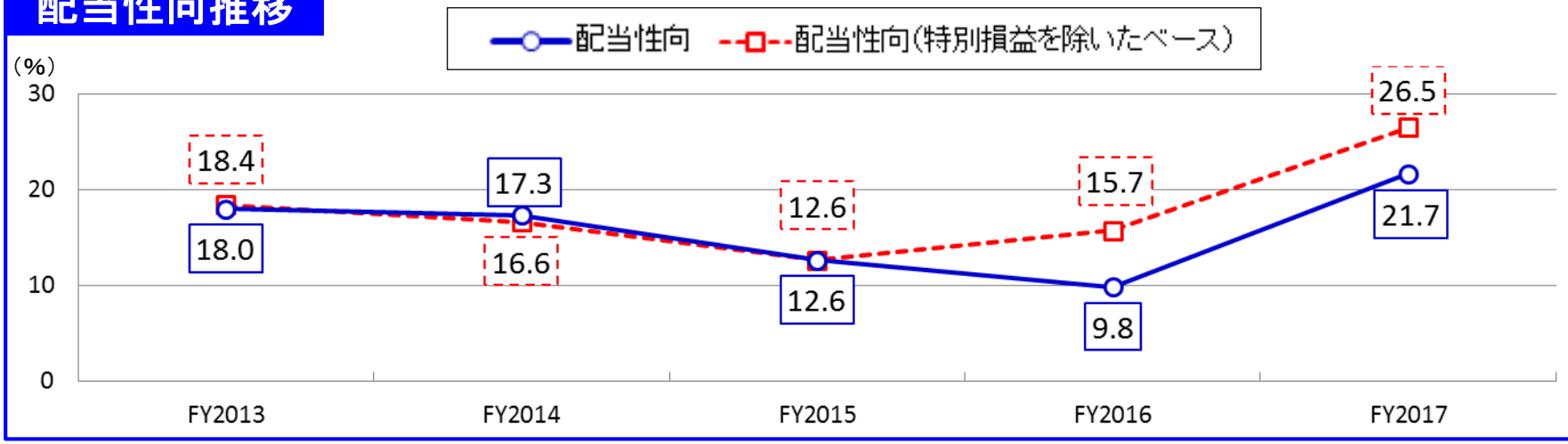
(6) 株主還元方針

①徹底した経営効率化と積極的な営業活動の展開により、**安定配当を継続することを基本方針としつつ**、中長期の利益水準等を総合的に勘案し、**成長に合わせた配当を実施**、②短期的な利益変動要因を除き、**連結配当性向30%以上**を目指す



※2009年度は、創立100周年、2014年度は、東証一部指定、2015年度は、天然ガス供給開始20周年に対し、記念配当を実施

配当性向推移



2. 広島ガスグループ2030年ビジョン

広島ガスグループ2030年ビジョン「スローガン」

幸せにつながる感動発信

2. 広島ガスグループ2030年ビジョン

スローガン	幸せにつながる感動発信
基本方針	1．経営施策を通じた感動追求
	2．エネルギーサービスを通じた感動追求
	3．安心を通じた感動追求
	4．人とのつながりを通じた感動追求
基本戦略（チャレンジ）	1．総合エネルギー事業の更なる拡大
	2．環境への貢献につながる事業展開と次世代エネルギーの研究
	3．デジタル技術の活用による高付加価値の創造
	4．グループ組織力の強化
	5．安全安心の更なる追求
	6．社会貢献活動の推進

経営理念　：　地域社会から信頼される会社をめざす

チャレンジ1： 総合エネルギー事業の更なる拡大

(1) エネルギーシェアおよびエネルギー供給量の拡大

都市ガス

❶ガス販売量の拡大
❷グループ・他事業者との連携および液売範囲の拡大
❸料金・サービス体制の再構築
❹製造・供給ネットワークの整備・増強、原料調達等の上流活動の強化
❺ガスの小売全面自由化への対応

LPガス

❶LPガス販売量の拡大　❷グループ最適体制の検討

(2) エネルギー周辺事業の強化

都市ガス

❶エネルギーサービスの強化
〈スマートエネルギーネットワーク、工業団地での電気・熱の相互融通〉
❷中四国ガス事業者との連携強化

LPガス

❶業務提携先との提携強化・販売体制の検討

(3) 超高齢化社会（人口減少・少子化の加速化）を見据えた事業戦略

❶地域マーケット戦略　❷過疎化対応

(4) ガス体以外のエネルギー事業への取り組み

❶再生可能エネルギー、発電事業の推進

チャレンジ2：環境への貢献につながる事業展開と次世代エネルギーの研究

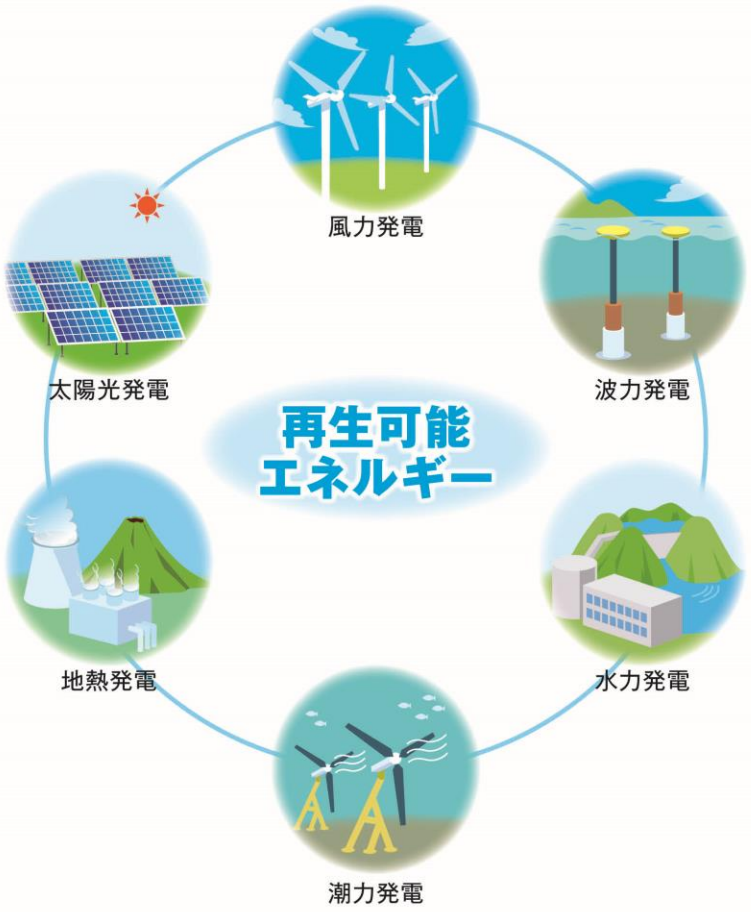
(1) 第5次エネルギー基本計画を踏まえた事業展開の取り組み

❶脱炭素化社会への貢献に寄与するエネルギー事業の検討

(2) 低炭素化に資する次世代エネルギー技術への取り組みと新たな事業基盤の構築

❶先端技術についての情報収集および、実現可能なレベルでの試験研究

❷再生可能エネルギーなど、更なる次世代に向けた事業展開の検討・推進



資源エネルギー庁ウェブサイト 特集記事「再生可能エネルギー」第4回イラスト
(http://www.enecho.meti.go.jp/about/special/tokushu/saiene/saienerekishi.html)
をもとに作成

チャレンジ3：デジタル技術の活用による高付加価値の創造

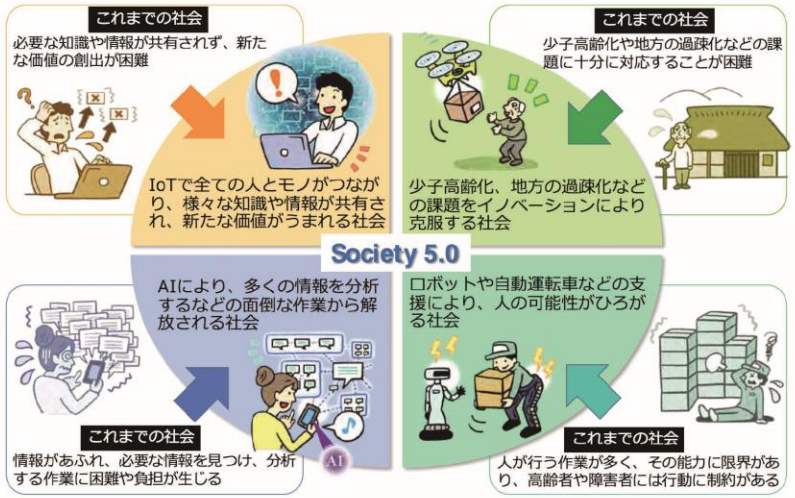
(1) 生産性向上に資する業務システムの刷新により、新たな価値創造と業務効率化を推進

❶ICTを活用した生産性の向上
❷デジタルワークスペースの整備による新しい働き方の実現
❸スマートデバイスを活用した業務効率化の推進
❹デジタル技術の活用による人材育成と技能伝承の充実強化

(2) 先進的なデジタル技術を活用したお客さまサービスの変革

❶スマートメーターの普及、EMS等の先進技術の導入による魅力あるまちづくりへの貢献
❷IoT、AI技術の導入によるお客さまサービスの充実

【 Society 5.0で実現する社会 】



出典：内閣府ホームページSociety 5.0「科学技術イノベーションが拓く新たな社会」で実現する社会
(http://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/index.html)

チャレンジ4：グループ組織力の強化

人間力・現場力の育成

(1) 従業員がやりがいや誇りを持ち、多様で柔軟に働ける職場を構築し、生産性の高い働き方を実現
(2) 地域に必要とされる創造性豊かな人材の育成と活用
(3) 地域社会に選択され、共に発展する企業グループであり続ける

求める人材像

謙虚さや感謝の気持ち、思いやりを兼ね備えることによる高い人間力と、必要な知識、責任感、使命感を持つことによる高い現場力を有しており、主体的に考え行動し、様々な仲間と一体感を持って協働していけるバランスの取れた人材が求められる。

姿　勢	知識・技能・能力
●今この瞬間に全力を尽くす人材 ●未来に向けて積極的に努力する人材	❶必要な知識と自主自立（自律）の精神を持ったプロ人材
	❷お客さまをはじめとするステークホルダーの視点・立場で行動する人材
	❸業務・行動に責任と自覚を持ち、内部統制・コンプライアンスの観点から、自ら判断して行動する人材
	❹コミュニケーション能力および協調性を持ち、思いやりを持って行動する人材
	❺地域社会に貢献する意識を持った人材
	❻多面的な視点およびバランス感覚を持って行動する人材

チャレンジ5：安心安全の更なる追求

(1) 保安レベルの向上（経年導管の取り替え促進、広域保安、保安周知　等）

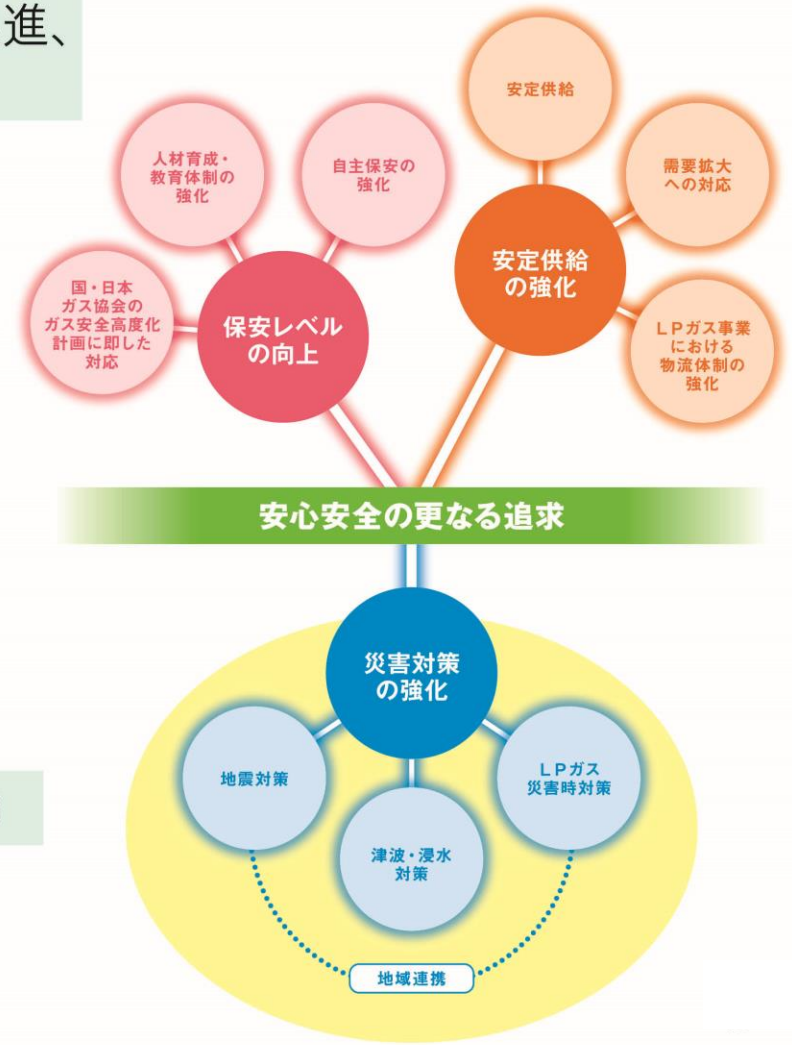
❶国・日本ガス協会のガス安全高度化計画に即した対応
❷人材育成・教育体制の強化
❸自主保安の強化

(2) 災害対策の強化（地域連携、防災投資　等）

❶地震対策
❷津波・浸水対策
❸ＬＰガス災害時対策

(3) 安定供給の強化（原料調達、インフラ整備）

❶安定供給
❷需要拡大への対応
❸ＬＰガス事業における物流体制の強化



チャレンジ6：社会貢献活動の推進

(1) 目指す姿

地域社会と共に発展する企業グループをめざす

(2) 目指す姿を実現するための手段

新たな活動の枠組み

❶ひと思い活動
<次世代教育><スポーツ振興>

❷くらし思い活動
<まちづくり>
<地域産業の活性化・経済の発展>
<芸術文化の発展および地域価値向上>

❸環境思い活動
<CO_2排出削減・省エネ>
<環境・地域保全活動>

2030年度経営目標

広島ガスグループは連結経常利益70億円規模の企業グループに成長する

2030年の目指す姿

（1）販売量

	2017年度実績	2030年度
都市ガス事業	526百万㎥	750百万㎥
LPG事業	89千ｔ	120千ｔ

（2）事業構成比

	2017年度実績	2030年度
都市ガス事業	77%	70%
LPG事業	20%	20%
その他事業	3%	10%

※構成比は事業の規模感を示し、売上高比率のイメージである

2030年の目指す姿

(3)経営指標

		2017年度実績	2030年度
収益性指標	ROA	2.4%	3.5%以上
	ROE	5.3%	8%以上
	EBITDA※1	101.9億円	160億円以上
安全性指標	自己資本比率	47.1%	50%程度
株主還元	配当性向	21.7%	30%以上※2

※1　ＥＢＩＴＤＡ＝営業利益＋減価償却
※2　短期的な利益変動要因を除く

(4)参考

12年間(2019年度～2030年度)で、1,300億円の投資を計画

3. トピックス

（1） 各種サービスの充実

（2） インフラの維持

（3） バイオマス混焼発電事業

（4） CSRへの取り組み

（1）①　各種サービスの充実

会員制Webサービス・ポイントサービスの導入

このまち思いエネルギー。
広島ガス
「このまち思いエネルギー。」

まちには人がいる
このまちの「ひと」思いサービス
・Ｗｅｂ会員サイト
・ポイントサービス

まちにはくらしがある
このまちの「くらし」思いサービス
・生活関連サービス

新たな料金メニューの導入

2018年度

学びと長寿応援プラン（2018年７月～）

○「このまち」の次世代を担う『ジュニア世代』、また、これまで「このまち」の発展に多大なる貢献をしていただいた『シニア世代』といった「ひと」を思い、これらの方々が「集い、くらす」施設※を応援するため、**ガス料金を３％割引**

※認可保育所等の「保育所」、幼稚園や小中学校等の「学校」、養護老人ホームやデイサービスセンター等の「老人福祉施設」

（1）② 各種サービスの充実

Energia 中国電力　このまち思いエネルギー。広島ガス　このまち思いエネルギー。広島ガスプロパン

2018年10月1日
サービス開始

中国電力の電気と広島ガス・広島ガスプロパンのガスを
同一場所でお使いのお客さまに対する新たなサービス

「ぐっとずっと。このまち思いセットサービス」

電気やガスのご使用などで貯まるポイントに加え、

毎年最大 **1,000** ポイント をプレゼント！（各社500ポイント）

各社のWEBサービスが、ますます便利に！おトクに！

中国電力 会員制WEBサイト
ぐっとずっと。クラブ

エネルギアポイント
年間最大500ポイント

＋

MY HIROSHIMA GAS

広ガスポイント
年間最大500ポイント

（2）インフラの維持（防災センタービル）

目 的

・日常のガス供給保安業務
・地震時、災害時等の初動体制を執る防災拠点の確保
・復旧活動へ速やかに移行できる体制の強化

概　要

・建 設 地：本社構内（広島市南区）
・階　　数：地上６階（地上５階、屋上塔屋）
・延床面積：約3,900㎡
・構　　造：１階ＲＣ造、２～５階ＳＲＣ造
　　柱頭免震構造＋床免震構造※一部
・工事期間：2016年11月　着工
　　2017年12月　竣工

完成写真

機　能

・震度７クラスの地震に耐える免震構造
・免震装置、執務室、重要設備機器を全て２階以上に配置し、津波等による浸水被害を回避
・非常用発電機による電源バックアップや、非常用給水、排水設備の確保により、外部からのインフラが途絶えた場合にも一定期間補給無しに業務継続が可能

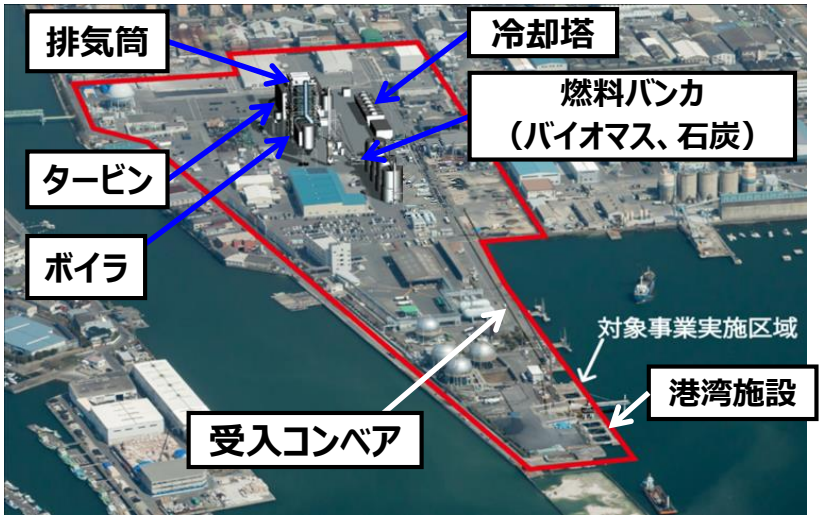
(3)(電力事業)バイオマス混焼発電事業

海田バイオマス混焼発電事業の実施について

中国電力と合弁契約を締結し、両社で新会社を設立。

【発電所概要】

発電所名	海田発電所	
発電設備	発電出力	約10万kW（送電端）
	発電方式	循環流動層ボイラ
	使用燃料	バイオマス(うち国内材は広島県内から調達)，石炭，天然ガス(助燃・バックアップ用)
工事開始	2018年12月（予定）	
運転開始	2021年3月（予定）	



【新会社概要】

会社名	海田バイオマスパワー株式会社
本社所在地	広島県安芸郡海田町明神町2番118号
設立日	2017年10月30日
設立時資本	資本金1億円、資本準備金1億円
出資比率	広島ガス（50%），中国電力（50%）
事業内容	バイオマス混焼発電所の建設，運転，保守および電力の販売

⇒ 県内の林地残材等の未利用木材や、海外の木質系バイオマス等さまざまな未利用資源を積極的に活用することで、**再生可能エネルギーの普及拡大**や**地域経済の活性化**に貢献。

（4）① CSRへの取り組み（環境への取り組み）

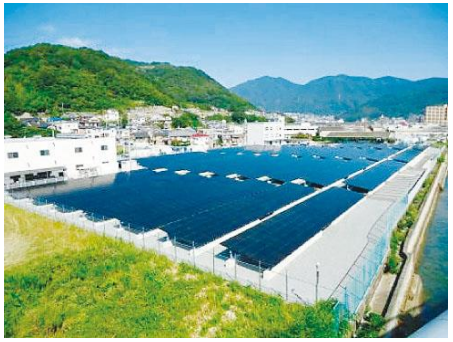
①お客さま先での環境負荷の低減

- （環境にやさしい）天然ガスの普及拡大
- エネファーム（家庭用燃料電池）の普及促進
- エネルギー利用効率の高いガスコージェネレーション
- 天然ガス高効率利用の促進（ガス空調）

エネファーム

②事業活動における環境負荷の低減

- ガス導管工事における排出物削減と再資源化
- ガスコージェネレーションシステムの導入（廿日市工場）
- ISO14001認証取得（製造部門）
- 大規模太陽光発電設備の設置
- 海田バイオマス混焼発電事業の実施


阿賀太陽光発電所（呉市）

③地域環境保全への貢献

- 地域清掃活動
- 各種環境フェアなどへの出展
- 地域環境保全推進団体・環境啓発事業への参画

事業所周辺清掃

（4）② CSRへの取り組み（地域貢献活動）

芸術・文化振興、地域振興

・「広島交響楽団ホットコンサート」の開催
・ひろしまフラワーフェスティバルへの参加
・「広島インドネシア協会」における国際交流活動
・「呉みなと祭」「尾道みなと祭」

広島交響楽団ホットコンサート

教育支援（次世代教育への取り組み）

・食育、火育、エネルギー・環境教育、防災教育などの
次世代教育への積極的な取り組み

防災教室

スポーツ振興

・スキー部（ソチ五輪銀メダル　竹内智香）
・バドミントン部（S/Jリーグ Ⅱ 所属）
・サンフレッチェ広島「広島ガススポンサードゲーム」の開催
・広島東洋カープ「広島ガススポンサードゲーム」の開催
・広島東洋カープ地元4社で合同応援の実施

バドミントン部

ご清聴
ありがとうございました

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、
当社が現在入手している情報および合理的であると判断する
一定の前提に基づいており、実際の業績は今後のさまざまな
要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

このまち思いエネルギー。
広島ガス

（ご参考）会社概要

■お客さま件数　　41万1千件（2018年3月31日現在）
■都市ガス供給区域　広島県内の7市4町
■広島県東部地区にて福山ガスに卸供給

■東京証券取引所市場第一部銘柄に指定（2015年3月9日）
■証券コード　　9535
■単元株式数　　100株
■発行済株式総数　67,998,590株

供給区域と体制

供給区域（広島県内7市4町）
広島市、呉市、尾道市、三原市、廿日市市、東広島市、福山市、安芸郡海田町・坂町・府中町・熊野町
お客さま戸数 411千件

(ご参考)主要決算数値

【ご参考】主要経営指標(過去10年)

(百万円)

	FY2008	FY2009	FY2010	FY2011	FY2012	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016	FY2017
売上高	82,965	70,524	73,311	76,731	77,912	83,541	88,851	76,303	70,002	73,717
営業利益	2,287	3,067	3,782	1,347	2,841	2,058	4,111	5,475	3,812	2,920
経常利益	2,860	3,106	3,959	1,803	3,170	3,235	4,699	5,775	4,310	3,506
当期純利益(※1)	-1,907	2,083	2,606	91	1,835	1,969	2,746	3,647	5,560	2,499
減価償却費	7,553	7,724	7,463	7,221	6,449	7,284	6,925	7,091	6,858	7,269
営業キャッシュフロー(※2)	9,379	9,807	10,070	7,313	8,285	9,253	9,671	10,739	10,313	9,319
設備投資額	6,098	4,106	3,864	5,457	7,227	12,257	9,667	9,851	8,267	7,401
フリーキャッシュフロー(※3)	3,281	5,701	6,205	1,856	1,057	-3,004	4	887	2,045	1,918
総資産	99,623	93,754	88,841	91,135	89,806	96,785	99,759	102,357	102,363	102,717
自己資本(資本)	26,530	28,560	30,471	30,142	32,190	33,586	37,340	39,961	45,825	48,332
有利子負債	50,768	44,366	38,726	40,707	36,193	42,360	39,215	37,350	36,310	34,455
ROA(%) (※4)	-1.8	2.2	2.9	0.1	2.0	2.1	2.8	3.6	5.4	2.4
ROE(%) (※4)	-6.3	7.6	8.8	0.3	5.9	6.0	7.9	9.4	13.0	5.3
自己資本比率(%)	26.6	30.5	34.3	33.1	35.8	34.7	37.4	39.0	44.8	47.1
EPS(円)	-32.4	35.3	43.9	1.5	31.2	33.3	46.3	55.7	82.0	36.8
BPS(円)	449.8	482.1	512.9	512.4	545.2	567.1	571.0	590.1	675.2	715.2
D/E レシオ	1.9	1.6	1.3	1.4	1.1	1.3	1.1	0.9	0.8	0.7

※1 2015年度より「親会社株主に帰属する当期純利益」に表記変更

※2「営業キャッシュフロー＝当期純利益＋減価償却費」により算定

⇒FY2008、FY2016、FY2017はキャッシュを伴わない特別損益を加減

〈FY2008〉循環取引損失2,364百万円、循環取引損失引当金繰入1,369百万円 〈FY2016〉債務免除益2,105百万円 〈FY2017〉退職給付制度改定益449百万円

※3「フリーキャッシュフロー＝営業キャッシュフローー設備投資額」により算定

※4 ROA・ROE算定の総資産・自己資本は期首・期末の平均値

（ご参考）販売量データ

【ご参考】主要経営指標（過去10年）

		FY2008	FY2009	FY2010	FY2011	FY2012	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016	FY2017
家庭用	販売量（百万m3）	106	106	108	107	105	103	103	100	99	104
	対前年比（%）	−3.1	−0.0	1.7	−0.5	−2.0	−2.2	0.7	−3.5	−0.9	4.8
商業用	販売量（百万m3）	57	51	51	49	48	47	45	43	44	45
	対前年比（%）	−8.3	−10.7	1.5	−4.8	−2.1	−1.1	−4.9	−3.3	1.9	2.5
工業用	販売量（百万m3）	243	269	275	273	262	258	242	242	255	271
	対前年比（%）	−10.4	10.8	2.2	−0.6	−4.2	−1.3	−6.4	−0.0	5.4	6.3
その他用	販売量（百万m3）	35	34	39	37	37	38	37	36	38	38
	対前年比（%）	−7.7	−1.3	12.7	−3.7	−0.1	2.7	−4.2	−2.7	5.8	1.5
卸供給	販売量（百万m3）	46	51	54	55	60	61	62	60	56	58
	対前年比（%）	47.0	9.4	7.1	1.5	8.1	1.9	2.7	−3.9	−5.9	3.6
合計	販売量（百万m3）	488	512	529	524	513	509	491	483	494	519
	対前年比（%）	−4.8	4.9	3.2	−1.0	−2.0	−0.8	−3.5	−1.8	2.4	5.0